

16 図書館の充実

①施策の展開	学習環境の整備・充実	課名	中央図書館
②取組概要	<p>子どもの読書活動推進のため、ボランティアとの協働・学校園との連携を進める。また、利用者へのサービスの向上を図るため、蔵書やeブック₍₂₈₎などの電子情報の充実に努める。</p> <p>読書環境の向上のため、図書館施設の整備・充実に努める。</p>		
③構成取組	<ul style="list-style-type: none"> (1) 利用者サービス事業 (2) 読書普及啓発事業 (3) 資料収集・保存事務 (4) 障害者・高齢者・多文化サービス事業 (5) 図書館施設管理事業 		

④取組計画	<ul style="list-style-type: none"> (1) 図書館蔵書の充実を図るとともに利便性の高いサービスを提供する。 (2) 市民との協働、学校園との連携を図りながら子ども読書活動を推進する。また、各種講座・イベントを通じて利用者の拡大を図る。 (3) 資料の収集・保存事務を推進する。 (4) 障害者・高齢者サービスの充実及び障害者・高齢者の読書環境充実に努める。 (5) 生涯学習機能の充実を図るため、利便性の高い「寝屋川市駅前」に寝屋川市駅前図書館（愛称：キャレル）を開設する。 		
-------	---	--	--

⑤取組実績

(1) 多様化する市民の資料ニーズに応えるため、図書館蔵書の充実を図った。また、インターネットによる予約受付を推進することにより、利便性の向上を図った。

<蔵書冊数> (単位：冊)

		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
受 入 数	購入数	29,449	29,765	46,885
	寄贈数	1,208	995	1,333
	合計	30,657	30,760	48,218
蔵書累計		449,609	454,633	500,242

※ 点字図書・視聴覚資料を含む

<貸出冊数> (単位：冊)

		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
中央図書館		700,978	677,700	627,834
東図書館		289,005	296,798	292,950
分室		145,317	147,667	156,481
移動図書館		21,832	19,235	19,197
総計		1,157,132	1,141,400	1,096,462

※ 分室は西北・南・東北・西南4分室の合計冊数

<インターネットでの予約サービスの状況> (単位：冊)

		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
予約受付数		174,455	174,714	178,210
内ネット 予約数		49,471 (28%)	61,437 (35%)	70,545 (40%)

(2) 子ども読書活動推進の一環として、「赤ちゃんに絵本を贈ろう事業」を実施している。

- ・ 早期教育の観点から、赤ちゃんに絵本を贈呈する時期を従

来の「1歳6か月児健診時」から「4か月児健診時」に移行した。

<子ども読書活動推進事業実績>

事業名	開催回数	参加者数/贈呈数
子ども読書活動推進啓発講座	12回	延べ507人
絵本と子ども どんな絵本よもうかな	12回	109人
絵本で子育てにこにこ赤ちゃん	12回	188人
保育所でのブックスタート	60回	3,189人
絵本を贈ろう事業（1歳6か月児）	12回	633冊
絵本を贈ろう事業（4か月児）	36回	1,954冊

- ・ 子どもの読書環境を整備するため、学校・幼稚園・保育所等への団体貸出用図書の利用を促進した。

<団体貸出の貸出冊数>

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
貸出冊数	52,225冊	43,681冊	44,481冊
学校園所	55校園所	49校園所	40校園所
家庭文庫の団体数	1団体	1団体	0団体
地域文庫の団体数	7団体	5団体	1団体
その他の団体数	65団体	62団体	43団体

※ その他の団体とは、留守家庭児童会や読書関係の市民団体で学校園は含まない。

- ・ 各種講座・イベントを通じて利用者の拡大を図った。

<主な子ども向け講座・講演会等参加者数>

講座名	参加者数
としょかんまつり	2,122 人
絵本タイム	2,227 人 (123 回)
おはなしの入門講座	144 人 (5 回)
子どもの本に関するワークショップ	83 人
読み聞かせ講座	16 人 (3 回)
児童文学講演会	48 人
児童文学地域講座	101 人 (2 回)
春「子ども読書の日関連行事」	104 人
秋「子ども読書週間行事」	46 人

<講座・講演会等参加状況>

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
実施回数	277 回	324 回	282 回
参加者数 (児童)	7,175 人	9,604 人	11,471 人

<主な一般向け講座・講演会等参加者数>

講座名	参加者数
サマーコンサート	80 人
ウインターコンサート	77 人
文学講演会	80 人
読書会	95 人

<講座・講演会等参加状況>

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
実施回数	31 回	18 回	13 回
参加者数 (一般)	2,189 人	1,509 人	332 人

※ 平成 22 年度は国民読書年、23 年度は市制施行 60 周年にあたり、大規模な講演会等を開催したため、例年より参加者数が増加している。

(3) 平成 23 年度で史料目録データをデータベース化した。平成 24 年度は、データを図書館ホームページに掲載し市民が検索・活用するための準備として、データ非掲載史料の選定基準の検討及び資料所蔵者との許可交渉のあり方について検討した。

(4) 視覚障害者向け点字・録音図書を作成を、市民団体との協働で行い、24 年度は、点字 6 タイトル 28 巻、テープ録音 27 タイトル 171 巻、デジタイズ録音 70 タイトル 70 巻を作成した。

<点字・録音図書貸出数>

		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
点字図書	タイトル	12 タイトル	11 タイトル	8 タイトル
	巻数	30 巻	28 巻	29 巻
テープ図書	タイトル	359 タイトル	391 タイトル	193 タイトル
	巻数	2,428 巻	2,531 巻	1,357 巻
デジタイズ図書	タイトル	202 タイトル	256 タイトル	455 タイトル
	巻数	202 巻	256 巻	455 巻

・ 視覚障がい者向け録音図書は、市民団体との協働でデジタイズ図書⁽²⁹⁾作成を推進し、利用拡大のためデジタイズ再生機⁽³⁰⁾を駅前図書館にも導入した。また、大活字本や録音図書の充実、拡大読書器⁽³¹⁾の導入も行った。

(5) 平成 25 年 4 月に寝屋川市駅前図書館を開設するため、不動産の購入及び改装工事等を実施した。

ア 寝屋川市駅前図書館の概要

面積 1226.08 m²(市民ギャラリー約 200 m²含む)

蔵書 5 万冊、開館時間 10 時～21 時

	<p>イ 公有財産の取得（図書館用フロアの購入） 購入面積 1008.73 m²（敷地権 100 万分の 60,793）</p> <p>ウ 改装工事等の実施 建築主体工事、機械設備工事、電気設備工事</p> <p>エ 図書館用備品の購入（書架、ギャラリー用備品等）</p> <p>オ 図書の購入 駅前図書館用図書 25,000 冊の購入</p> <p>カ 窓口業務の委託化 民間業者への業務委託の実施</p> <p>キ 寝屋川市駅前図書館設置に伴う条例の策定及び改正 寝屋川市立寝屋川市駅前図書館条例の制定 寝屋川市立図書館条例の改正（西南分室の記載等）</p> <p>ク 愛称の選定 市民公募により「Carrel（キャレル）」に決定</p> <p>ケ 内覧会の実施 開館前に議会等関係者を対象に事前内覧会</p>
--	--

⑥評価

- (1) 図書館全体の年間個人貸出冊数は、前年度比約4%減少した。一方でインターネット予約の促進により予約受付冊数が前年度比5%増える等、利用者の利便性向上に努めた。図書館の便利な活用について周知を図るため今後もインターネット予約を促進していく。
- (2) 子ども読書活動推進事業の各講座では、3,993人の参加があり、「赤ちゃんに絵本を贈ろう事業」では、絵本配布時期を従来の1歳6ヶ月児健診時から4ヶ月児健診時に切り替えた結果、早期に子ども図書室へ来館する親子が増える等の成果が見られた。団体貸出も多くの利用があり、子ども読書の環境を支えている。
- (3) 史料目録データのデータベース化は終了した。今後、一般公開への条件整備を行い、図書館ホームページ上からの検索が可能となるよう作業を進める必要がある。
- (4) 視覚障害者向けサービスでは、市民団体との協働で順次録音図書のデジタイズ化を推進し、利用者の利便性向上を図り、利用を拡大した。
- (5) 市民の利便性が高い「寝屋川市駅前」のアドバンスねやがわ2号館3階に寝屋川市駅前図書館（愛称：キャレル）を設置（平成25年4月オープン）し、生涯学習機能の充実・市民文化の振興・にぎわいの創出を図るための環境を整備した。
　　今後は、記念事業（講演会、記念展示、ビブリオバトル等）の実施、報道機関への情報提供や近隣商業施設との連携を進める中で、図書館及びギャラリーの周知を図っていく。
　　また、本市のブランド力強化に貢献するため、関係課と連携したイベントの開催等により、駅前図書館からの発信力を高めていく。